

【山梨運輸支局よりお知らせ】

山梨運輸支局人事異動

新・勤務地	氏 名	旧・勤務地
関東運輸局自動車技術安全部次長	太田 栄	山梨運輸支局長
山梨運輸支局長	井出 廣久	関東運輸局自動車技術安全部安全・環境課長
関東運輸局企画振興部観光振興課長	西牧 秀夫	山梨運輸支局企画調整官
八王子自動車検査登録事務所前任自動車検査・登録官付管理係長	鈴木 一雄	山梨運輸支局企画輸送課輸送係長
山梨運輸支局企画輸送課輸送係長	森下 文章	山梨運輸支局企画輸送課監理係長
辞職	笠井 成行	山梨運輸支局前任自動車登録官
独立行政法人交通安全環境研究所	田口 直人	山梨運輸支局企画輸送課
多摩自動車検査登録事務所 主席自動車登録官	五味 明敏	山梨運輸支局主席自動車登録官
関東運輸局自動車交通部貨物課企画係長	佐野 和浩	山梨運輸支局自動車登録官
埼玉運輸支局輸送課輸送係長	向山 真次	山梨運輸支局自動車登録官
交通安全環境研究所自動車審査部審査官	今泉 良明	山梨運輸支局整備課自動車検査官
山梨運輸支局企画調整官	甲谷 益一	関東運輸局海上安全環境部監理課長補佐
山梨運輸支局企画輸送課監理係長	中山 俊夫	関東運輸局自動車交通部旅客第一課
山梨運輸支局前任自動車登録官	梶原 俊貴	関東運輸局企画振興部企画課長補佐
山梨運輸支局企画輸送課	大幡 賢正	新規採用
山梨運輸支局主席自動車登録官	土屋 美恵子	八王子自動車検査登録事務所 主席自動車登録官
山梨運輸支局自動車登録官	佐野 陽	東京運輸支局監査課監査第二係長
山梨運輸支局自動車登録官	横濱 稔幸	茨城運輸支局自動車登録官
山梨運輸支局整備課	永井 啓仁	関東検査部山梨事務所 自動車検査官補

軌陸車（鉄道保線用自動車）の車両重量超過車両に係る 指定自動車整備工場における継続検査時の取扱いについて

鉄道事業者等が使用する軌陸車の二時架装に伴う重量超過が問題となっており、現在、運輸支局等において確認作業が行われております。

鉄道保線用自動車に係る継続検査の依頼があった場合は、下記の事項に留意して指定整備の取扱いを行って下さい。

記

1. 使用者に対して、運輸支局等において車両重量等の確認を受けたことを証する書面（別紙４）の提示を求め、提示がない場合は指定整備扱いはしないこと。
2. 書面に記載された超過重量が50Kg以内であって、当該重量の増加が新たな装置を取り付けたものでないと認められるものについては、自動車検査証記載の車両重量と相違ないものとして差し支えない。
3. 書面に記載された測定重量が許容総重量を超えていないものの、自動車検査証記載の車両総重量との相違が50Kgを超えている場合には、自動車検査証の記載事項変更等必要な手続きを行うよう使用者を指導し、当該手続きが行われるまで指定整備扱いはしないこと。
4. 自動車検査証の記載事項（車両重量を除く。）との同一性の確認を確実にすること。

鉄道保線用車両等の車両総重量に係る調査票《記載例》

別紙 4
〇〇鉄道（株）

整理番号	区・系統	配置部署	架装メーカー	軌陸車 その他の別	登録番号	車両導入 年月	車両総重量 (Kg)	測定総重量 (Kg)	超過重量 (Kg)	許容総重量 (Kg)
1	施設 (保線)	〇〇保線区	〇〇自動車	軌陸車	品川800 さ1234	H12. 7	7,895	8,900	1,005	8,000
2		〇〇部	〇〇製作所	軌陸車	品川800 さ1235	H12. 8	7,755	8,500	745	8,000
3			〇〇車両	その他	品川800 さ1236	H12. 9	6,780	6,795	15	7,100
4										
5										
6										
7	施設 (土木)	〇〇センター								
8		〇〇施設区								
9										
10										
11										
12										
13	電気	〇〇電気区	〇〇自動車							
14										
15										

運輸支局等
の受付印

- 注） 1. 「車両総重量」は自動車検査証に記載されている重量とする。
 2. 「測定総重量」は測定した車両重量に乗車定員×55Kg及び最大積載量を加えた重量とする。
 3. 「許容総重量は」自動車メーカーの資料に基づく重量とする。